

## 【 養成医 長谷川貴也先生に聞く 】 公立宍粟総合病院

### 自己紹介

名前：長谷川貴也

勤務先：神戸大学医学部附属病院 小児科

経歴： 2015 年 3 月 自治医科大学 卒業

2016 年 4 月 公立豊岡病院

2019 年 4 月 公立村岡病院 総合診療科

2021 年 4 月 県立丹波医療センター 内科

2022 年 4 月 姫路赤十字病院 小児科

2023 年 4 月 公立宍粟総合病院 小児科

2025 年 4 月 現職

専門：総合診療・小児科



### 地域の紹介

宍粟市は兵庫県の中西部に位置し、北は養父市・鳥取県、東は朝来市・神河町、南は姫路市・たつの市、西は佐用町・岡山県と接しています。京阪神と中国地方を結ぶ中国自動車道と、山陽と山陰を結ぶ国道 29 号が市内で交差しており、西播磨内陸部の交通の要衝となっています。市の中心部から神戸までは約 100 キロメートル、大阪までは約 140 キロメートルと都市部へのアクセスも良好です。また、東西に約 32 キロメートル、南北に約 42 キロメートルと広大な面積を有し、行政面積は 658.54 平方キロメートルで、兵庫県全体の約 7.8%を占めています（宍粟市 HP より抜粋）。



私が昨年まで勤務していた公立宍粟総合病院は、市の南部に位置し、山崎インターから車で 10 分程度と交通の便にも恵まれた場所にあります。市内で唯一の小児科として、周辺地域を含め約 6,500 人の小児人口を対象に、外来診療を中心に、入院管理、予防接種、乳児健診、新生児診療など幅広い医療を提供しています。



#### 養成医師・地域卒学生へのメッセージ

宍粟市では少子高齢化の影響を強く実感しており、ここ数年で出生数が急激に減少しています。子どもや若者世代が減り、高齢者が増えていく現状は、全国的にも同様の傾向にあります。こうした中で、小児科や産科の診療は今後、都市部への集中が進むことが予想されます。しかし、そのような未来においても、地域に若い世代が残り、安心して暮らしていけるためには、地域での小児科・周産期医療を守っていくことが必要不可欠です。

私自身、これまでさまざまな地域で勤務してきた中で、それぞれの地域での経験がかけがえのないものとなりました。今後も恩返しの気持ちを持って地域医療に携わっていきたいと考えています。ぜひ皆さんも、さまざまな地域に足を運び、それぞれの地域の魅力や課題に触れてみてください。そして、地域医療に関心を持ち、地域での勤務を選ぶ仲間が増えることを心から願っています。

キャリア形成卒後支援ユニット

[postgrad@med.kobe-u.ac.jp](mailto:postgrad@med.kobe-u.ac.jp)

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597 (神戸大学総合内科医局内)